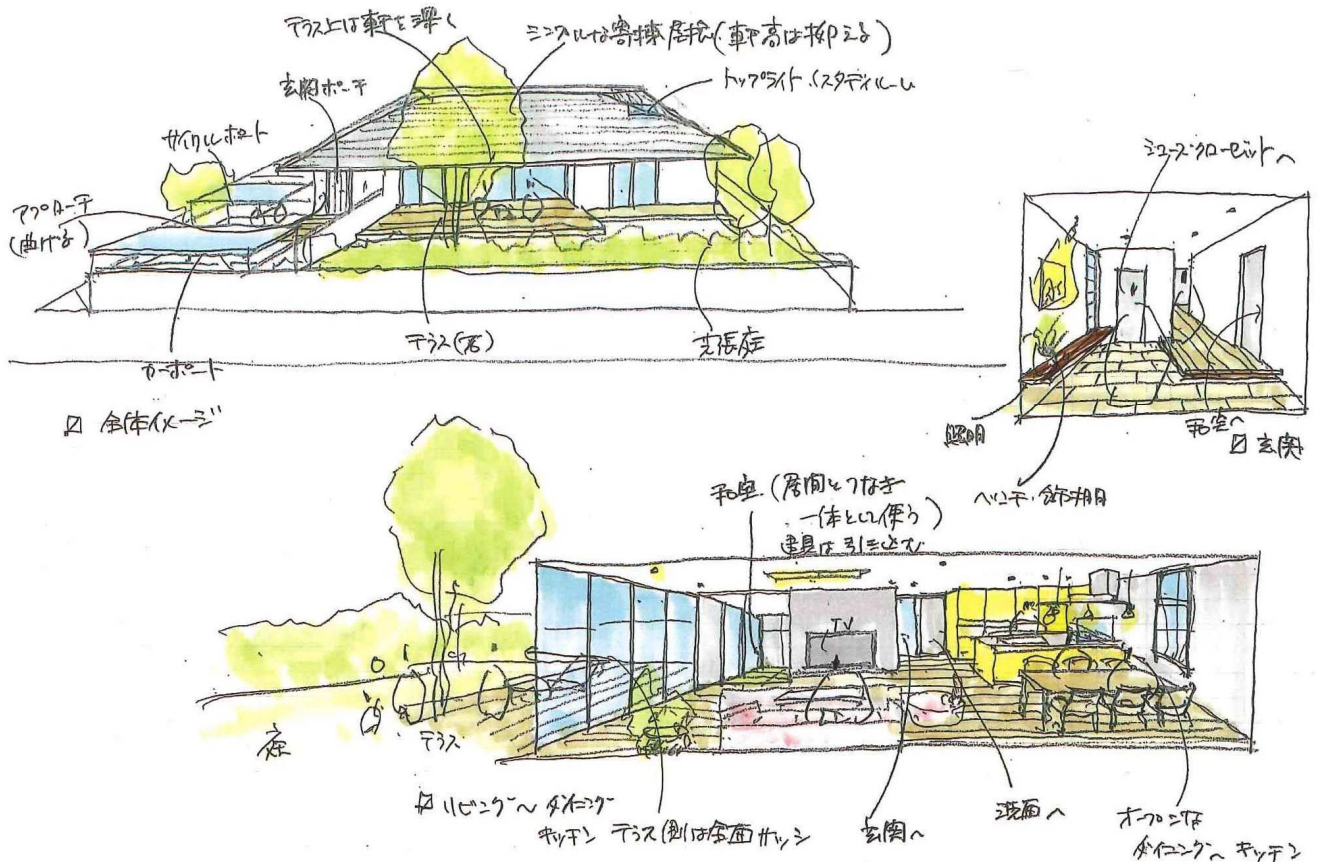


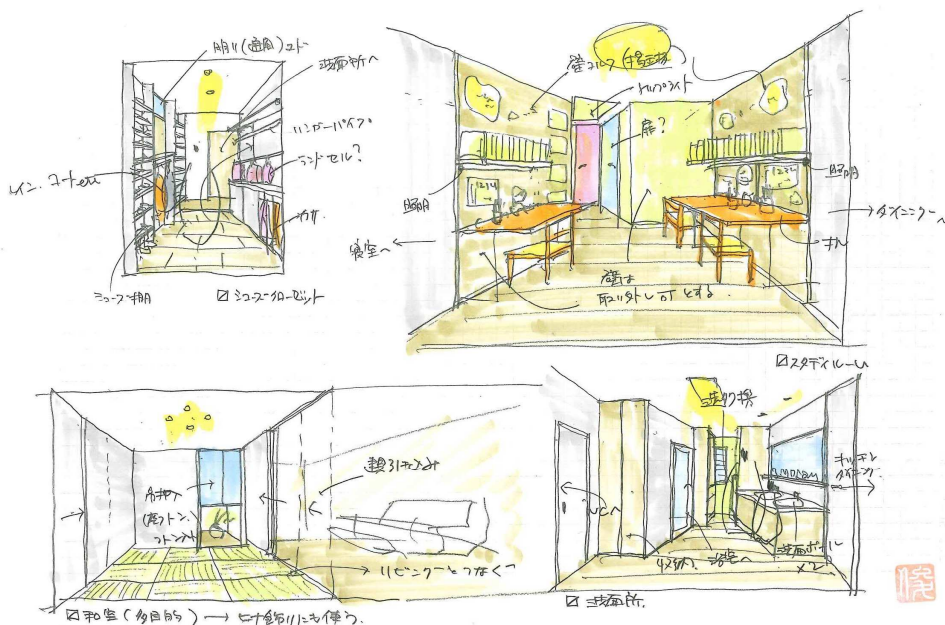
“ふつう”・・・ではない住処

株式会社エーアンドシー設計

<http://www.aandc.co.jp/>



今時“贅沢な”憧れの平屋建て住宅の設計の機会を得て市街地において工事進行中です。住まい手は若いご夫婦とお子達3人のご家族です。居心地重視で街並みに溶け込む私なりの“ふつうの住処”を、いつもの“アナログ”提案で行いました。 ”相当な寒がり“と自称されている奥様に2025年の法改正に先立ち省エネ性能評価を取得した高気密・高断熱の設計です。永らく伝統的民家を好む設計者にとっては一般的な高気密・高断熱住宅は高コストで息苦しい様に思われて違和感を持っていましたが、必要な時に開け放し風通しの出来る事が出来ればと思い描きました。



昨今のエネルギー価格高騰を考えるとパッシブ且つ再生エネルギーだけで完結する事が理想ですが市街地の街中条件を考えると、相応のコストが必要になり必ずしも現実的な選択ではないケースが考えられます。住まい手の考えを尊重し、いかに効率の良い省エネ性能を求める設計の機会も増えてきました。設計者の好みを押し付けない、住まい手にとっての“居心地の良い”次の世代に向けて“ふつう”・・・ではない住処を、これからの大事な設計目標にしたいと思い、日々現場に通っています。